

CELERY

No. 4
1989

CAMPUS
COMMUNICATION

出逢はいつとも

トキメキを感じています。

児童学科・幼児教育科 教授 松本 壽吉

このプロジェクトによる研究は、昭和六十三年六月に文部省科学研究費補助金の交付が決定してから始めました。研究テーマは「ライフステージに即した健康生活習慣の指導に関する研究」で、三年間継続の研究であります。

プロジェクトのメンバーは、まず最初に研究内容について話し合いをもち、研究をどのように進めていくかを決めました。この研究は、健康増進に関係する事柄を、総合的に検討していくものであります。したがって、研究領域をつぎの六領域としました。

- (1) 生活形態に関する研究
- (2) 食生活に関する研究
- (3) 運動生活に関する研究
- (4) 身体的健康度に関する研究
- (5) 精神・社会的健康度に関する研究
- (6) 健康教育に関する研究であります。

研究内容は、対象者を妊婦、幼児から高齢者までとし、①健康

公開講座

一般市民の皆様には日常生活を豊かにするヒントを、また、栄養士や教師などの専門家として働く方々には、仕事に役立つ知識を提供することを目的に、毎年開催している夏季公開講座は、八月三日と四日の二日間、多目的ホールを会場に開催。今年で十六回を数えた。

初日は「食品の新しい機能性」これからの食物と食生活」と題し、講演が二つ行われた。大村浩久教授（食品加工学）は、「食品の機能性」というテーマで、食品の第三の機能といわれる生体調節機能などについて最近の研究の動向を報告された。

また、疫学研究の専門家である
学長、倉恒匡徳教授（公衆衛生
学）は、「食生活とガン―疫学面
を中心にして」のテーマで、ガン
の発生からその予防までを、各国
で行われている研究の成果を紹介
しながら解説された。

つぎに、このプロジェクトの研究によって一応のまとめができ、これまでに発表された成果の一部を報告します。

▽妊婦を対象とした研究

福岡市J保健所とT産婦人科医院の妊婦に対して、栄養と運動の指導をしております。とくにT医院の妊婦には体力を最大酸素摂取量により調べ、至適運動として歩行運動を実施させ、運動実施による効果を分析しております。運動群^{※注}と非運動群には不定愁訴値に差

▽幼児を対象とした研究

福岡市A幼稚園と長崎県壱岐のI幼稚園・K幼稚園の園児に対して、栄養摂取状況と食生活習慣、形態、運動能力と運動生活習慣の測定・調査を実施しております。壱岐の幼児は福岡の幼児に比べて肥満度は低く、運動能力のパワーが優れていると思われる、このことは、栄養摂取状況と戸外での遊びなど、運動生活習慣と関係があるものと報告されています。

▽小学生、中学生を対象とした研究

長崎県雲岐の1小学校・K小学校の1年生と4年生、I中学校・K中学校の1年生に対して、栄養摂取状況と食生活習慣および形態、運動能力、運動機能と運動生活習慣、さらに精神・社会的健康度と生活形態の測定・調査を実施しております。

小学校の一年生と四年生、中学校の一年生を対象者としたのは、この研究が三年継続であり、同一対象者を三年間測定できること、個人の身体的発育、発達の状態を知ることができるからです。測定

ここを、こうして…
(ゴム鉄砲製作中)

第二日目は「親子のふれあい」と子供の発達」と題し講演と製作実技練習。午前中は田中孝志講師（教育心理学）の「発達とコミュニケーション」という講演で、コミュニケーションの発達の過程や、テレビの活用などによるコミュニケーション能力促進のためのコミュニケーション能力促進のためのコミュニケーションが例示された。午後からは黒川混二教授（絵画製作）の指導による「創造性を育てる子供の造形あそび」と題した製作実技の練習があり、割りばしでゴム鉄砲をつくったり、マーブルングを描いたり、と、終始なかなか雰囲気で行われた。

このように市民の皆様に広く親しまれている本学の公開講座だが、昨年度からは、さらに財団法人福岡県地域福祉振興基金の要請を受けて、「地域社会における福

社と教育を考える」というテーマでの公開講座も開催している。今年度は十月十四日から十二月十六日まで毎週土曜日、九回シリーズで開催。テーマおよび講師は別表のとおり、多様な学問分野から盛りだくさんの内容となっている。受講されている方々は年齢、職業とも様々で熱心に講義を受けておられた。

回	月/日	講義題目	講	師
1	10/14(土)	開講式 挨拶 オリエンテーション	中村学園大学学長 地域福祉振興基金理事長 A P 事務局	倉恒 匡徳 水野 勲
		ボランティアについて	九州大学教授 振興基金理事	鈴木 廣
2	10/21(土)	父よあなたは強かった —「日本の父性の発見」は可能か—	中村学園大学教授	萩 敏也
3	10/28(土)	地域経済と食料生産	中村学園大学教授	西岡 弘晃
4	11/4(土)	子どもの人格発達と家族福祉の課題 —要養児見と非行児の問題から—	中村学園大学助教授	岡本 健二
5	11/18(土)	現代社会における健康管理	中村学園大学教授	松本 壽吉
6	11/25(土)	生涯学習と青少年の教育 —こわからの教育に求めるもの—	中村学園大学教授	富崎 望
7	12/2(土)	21世紀をめざす福祉と健康 —健康増進と福祉の向上—	中村学園大学教授	今村 英夫
8	12/9(土)	社会生活とコミュニケーション	中村学園大学講師	田中 孝志
9	12/16(土)	参加型から参画型のコミュニティづくりへ —大学の授業づくりからの発想—	中村学園大学助教授	林 義樹
		閉講式 修了証書授与 挨拶	中村学園大学学長 地域福祉振興基金理事長 受講生代表	倉恒 匡徳 水野 勲

榮養改善學會賞

大学食物栄養学科 管理栄養士
専攻の学生（昭和六十二年三月卒業）が、伊藤和枝助教授（給食管理）と山口敦子助手の指導のもと、在学中に卒業研究としてまとめ発表した論文が、今年度の日本栄養改善学会賞を受けた。

研究テーマは「ナトリウム・カリウム摂取量推定法の検討」。高血圧と関係の深いナトリウムやカリウムの摂取量は、食事調査による方法では正確につかみにくいことから、尿中排泄量の測定が最も信頼性が高いとされている。しかし、二十四時間蓄尿はかなり困難を伴うため、分割尿（一部尿）から一日排泄量を推定する方法が報告されている。そこで研究にあたってゼミ生全員が午前八時〜十二時、十二〜十六時、〇時〜八時の三回、一部尿とそれを含む二十四時間尿を一カ月間すべて採取した。また、摂取した食事の中のナトリウム・カリウムを分析し、摂取量と排泄量を確認した。

この結果、午前中（八時～十二時）の尿を一部（五cc）取り、それに含まれる量を分析することによって、一日に摂取したナトリウムやカリウムを、かなり正確に推定できることを実証した。

る有所見者および肥満者に対しては、栄養と運動の指導を実施しております。栄養調査と体力測定の結果から個人に対して至適栄養と至適運動の処方をして、健康生活の実践をしてもらい、その結果、肥満の減少、体力の向上、不定愁訴の改善がなされております。また運動実践にともない精神・社会的健康度の改良が認められたと報告されております。

▽超高齢者を対象にした研究

高知県内在住の百歳以上の老人に對して、医学検査、健康度診断検査、栄養摂取状況の調査を実施してあります。医学的検査では加齢による老化現象がありますが、血圧は暇たきり老人以外は正常であり、健康度は自宅居住者がホーム在住者より高位でした。また食習慣は共通して毎日三食を定刻にとり、腹八分目に抑えています。

超高年齢者とはいえ、生き甲斐をもって生活していると報告されています。

ーが協力して研究した内容をまとめて中間報告いたしました。これからは、これらのデータを総合的に分析し、健康増進のための生活習慣指導に役立てたいと考えております。

※不定愁訴値 更年期障害、特に自律神経系の症状を判定するもの。更年期障害における自律神経系の症状は、主に運動不足によるものが多いので、運動不足を判定するのに役立つ。

導に役立つものとして高く評価された。伊藤助教授は、この論文を単なる卒業研究で終わらせるにはもったいないと、日本栄養改善学会に報告。約三百三十編の研究報告の中から受賞が決定した。

「あの時の苦労が、こんな大きな成果となって返ってきました。卒業生一人一人にとって、これからの人生の大きな励みになると思います」と伊藤助教は受賞の喜びを語られた。

▽伊藤和枝助教▽山口敦子助手▽一瀬 雅子▽徳州会福岡病院管理栄養士▽熊谷 恵▽佐賀医科大学付属病院管理栄養士▽山口しのぶ▽元九州大学健康科学センター▽研究補助員▽村山亜紀子▽福岡赤十字病院管理栄養士▽遠山 妙子▽東筑病院管理栄養士▽縄田 和子▽中村学園大学・短大助手

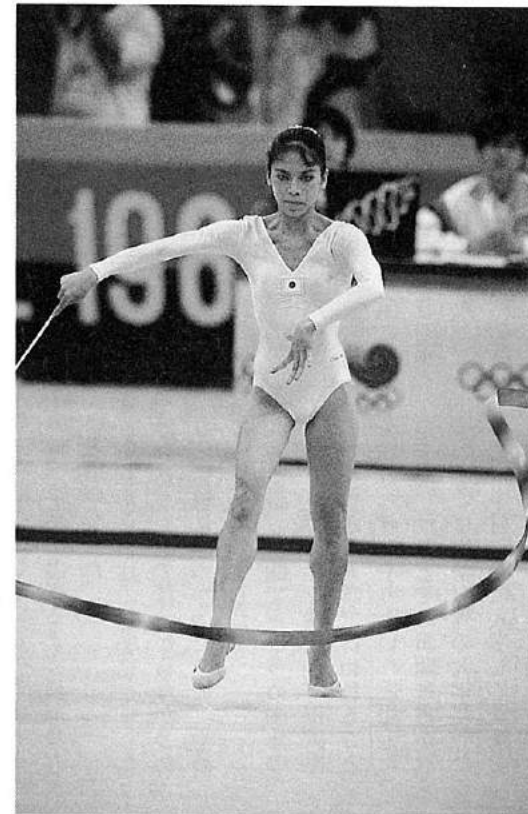


受賞を喜ぶ卒業生

私と体操新

東京女子体育大学 助手

秋山 エリカ



(写真提供 西日本新聞社)

秋山エリカさん プロフィール

昭和39年12月31日生。中村学園女子高校入学後新体操を始め、高校時代には部長としてチームをまとめ、国際大会にも出場する。卒業後、東京女子体育大学へ進学。1年生で学生チャンピオンになり、数多くの国際大会で活躍する新体操界の第一人者。本年9月、サラエボ(ユーゴ)で行われた世界選手権で8位という快挙を成し遂げる。現在東京女子体育大学の助手として在籍。主な競技歴は次のとおり。

1984年 ロスアンゼルスオリンピック大会
1984年～1988年 全日本選手権大会
個人総合優勝(5年連続)
1985年 第12回世界選手権大会(フランス)
1986年 第2回ワールドカップ東京大会
1987年 第13回世界選手権大会(ブルガリア)
1988年 ソウルオリンピック大会
1989年 第14回世界選手権大会(ユーゴ)

私が現在所属する東京女子体育大学は、東京の郊外にあり、近くには多摩川が流れ、天気の良い日には富士山を眺めることも出来る、美しい自然に恵まれた場所にあります。そんな環境の中で、私は毎日新体操の練習に汗を流しているのです。

私が新体操に出会ったのは、中村学園女子高校に入学してからです。監督の山野孝子先生、コーチの加藤純子先生のもとで、クラブ活動を通して新体操の楽しさを覚えたのです。「新体操が好きだ、もっとやりたい」という気持は止められず、高校の先生方、クラブの仲間達の応援もあり、新体操を勉強するために一人上京したので

から集まっていたいました。新体操競技部員百三十人余り、そんな中に身を置いて私の大学生活が始まったのです。

部員の多くはインターハイや国体など、国内での大会イベントを経験しており、高校時代のタイトル保持者も少なくありません。その中から、この大学で選手として試合に出場できるのは、団体選手八名、個人選手六名のほんの一握りなのです。年に数回、選手を選ぶための選考会があります。まるで映画で見たコーラスラインのオーディションのように、人数が絞られてゆくのでした。幸運なことに、私は大学に入学して個人選手として選ばれたのです。ほとんどの部員は落とされてゆくわけですから、くやしきや辛い思いがあるはずですが、でも、「あなたは私達部

員の代表なのよ、頑張っ——」選手に対して心から応援してくれ。そしてまた次の選考会に向けて、一人一人が努力を続けるの。そんな素晴らしい仲間を見つけたことが出来るのも、同じ目標を持つ人が集まる大学の良さだと思ふのです。

新体操を始めて十年の月日が流れました。世界選手権やオリンピックにも出場し、数多くの試合を経験しました。「もう、あなたはベテランだから慣れていよう」とう。気楽に出来るでしよう」と人に言われます。しかし、何回試合をやっても同じ試合というのはありません。毎回、どの試合も怖いのです。きつと選手である間は、ずっとこの恐怖と戦ってゆくのだと思います。でも、経験を積むことによって怖さやプレッシャーに

という励みにすれば良いと思ひます。また大切なのは、成功した時に、なぜ自分は成功したのかを考へることです。成功した時のことを同じように続けられ、もっと進歩のある自分を発見することが出来ると思ひますし、また問題がおきて、そこでもう一度考えれば良いと思ふのです。かならずそれは次へのステップとなるはずで。一つのことを成功させるのはは努力と時間がかかります。そして、今の私にとって経験は何よりも大切な宝物です。それは良い経験だけではなく、辛いこと、苦しいことであつてもです。

新体操の練習に休みはありません。お正月も、夏休みも何もありませんが、それは私にとって苦ではないのです。食事をしたり夜寝るのと同じように、私の生活の一部分に新体操の練習があります。それが普通だと思ひばいいのです。普通であること——それは練習の時だけではなく試合でミスをして、ケガ、病気でいい練習が出来ないので健康を保つこと——すべてのことに通じて言えます。心にも体調にも波を作らず、おだやかでありたいと思ひます。そして、それを続けていくことが大切だと私は思ふのです。

新体操と出会い、今、選手として努力出来ることに感謝しながら、今日も元気に体育館へと向かう私です。

父兄後援会地区連絡会 開催中

今年度の父兄後援会地区連絡会が、九州各県および山口県の十会場で九月三十日から始まった。(別表参照)

この連絡会は、大学と父母が子女の教育や学生生活について、積極的に意見を交換しようとするもの。後援会行事の中でも重要なものとなっており、大学側も延六十名の教職員を出席させるなど力を入れてる。すでに四月から五月にかけては卒業年次の父母を対象に「就職に關する連絡会」を同じ地区で開催しているが、今回は、学生生活、履修状況も含んだ総合的な連絡会となっている。配布資料の中には前期試験の成績表も含まれており、子女の学習状況についてなるべく子細に意見を交換できるようにしている。また、個人面接には学生一人一人のカードがあり、面談内容はその度記入

今年度の連絡会には全学生数の

入。今後の学生生活、就職指導に役立てられるようになってる。大学を訪れる機会の少ない父母にとつてこの連絡会は、子女の様子を知つてたいへん良い催しであるとして好評だ。寮生活、クラブ活動、アルバイトなどに関しても熱心な質問が出され関心の高さがうかがえる。

今年度の連絡会には全学生数の



個人面談(北九州会場で)

平成二年度入試にむけての 進学説明会が開催される

高校の先生方や生徒および父母を対象にした進学説明会が、今年も六月六日の下関会場を皮切りに十月初旬まで、九州・山口地区の延べ四十五会場で開催された。八月二十九日の本学会場では個別懇談のほか、ビデオの上映や、制服・各種資料の展示および学内の施設見学など、「キャンパス公開」として今までより以上に細かな具体的内容となった。参加者からは、入試の選考方法・合否の目安・各学科での具体的な授業内容・就職状況・教員採用試験や公務員試験にむけての指導内容などの他寮・下宿・クラブ活動といった学生生活についても熱心な相談や質問が寄せられた。

特に高校生にとっては、入学してから二年間あるいは四年間、どのような学生生活をエンジョイできるか、そして免許・資格を取

期日	地区	会場名
9/30(土)	熊本	交通センターホテル 熊本市桜町3-10 096-351-1111
10/1(日)	長崎	センチュリーホテル 長崎市目覚町1-26 0958-46-2222
10/7(土)	山口	山口グランドホテル 山口県吉敷郡小郡黄金町1-1 09397-2-7777
10/10(火)	北九州	KMMビル 北九州市小倉北区浅野2-14-1 093-511-6450
10/21(土)	鹿児島	ニューカゴシマ 鹿児島市中央町6-5 0992-53-5353
10/22(日)	宮崎	MRT, MICC 宮崎市橋通西4-6-3 0985-22-1111
10/28(土)	大分	つるみ荘 別府市田の湯13-13 0977-21-0101
11/25(土)	佐賀	佐賀神社記念館 佐賀市松原町2-10-43 0952-24-4122
12/3(日)	筑後	ホテルニュープラザ 久留米市六ツ門16-1 0942-33-0010

※福岡地区は10/14(土)に本学で開催

■平成2年度大学・短大入試要項

	出願期間	試験日
推薦入学	大学 10月13日～10月27日 短大 10月30日～11月13日	大学 11月5日(日) 短大 11月19日(日)
試験入学	1月8日～1月25日	大学 2月1日(木) 短大 2月2日(食栄) 2月3日(家政)

▶試験科目
推薦入学 基礎的学力を判定するテスト(国語・英語)、面接
国語(1・2)、但し、古文、漢文を除く
英語(英語1・2)
試験入学 数、化、生、日、世の5科目から1科目
(但し、食物栄養学科・食物栄養科は、日本史、
世界史を必修(試験入学のみ))
▶地方試験
大学は広島・宮崎、短大は宮崎で実施

シリーズ

元気なサークル (2)

バレーボール同好会



最近、若い女性に人気のあるバレーボール。御多聞にもれず、本学のバレーボール同好会も学生に人気があるようだ。今年度も38名の新生が入会し、総勢95名の大所帯となった。人気は和気あいあいとした会の雰囲気にあるようだ。

中学・高校と「勝つ」ためのバレーボールを続けてきたという女子部キャプテンの浜本陽子さん(児童教育学専攻3年生)は、大学に入ったらバレーボールはやめようと考えていたそう。ところが、このサークルのあまりに「楽しそう」練習風景をみてビックリ。もう一度コートに立ってみたいと思ったとのこと。

浜本さんが感じたように、会の方針は「楽しくバレーボールをしよう」というもの。だから、初心者でも気軽に入会できるのが持ち味である。男子はほとんどが初心者。女子は経験者と初心者が半々といったところ。

「毎日でも練習したいくらい楽しいサークル」だが、なぎなた部やバドミントン部など5つのサークルが交替で体育館フロアを使用するため、練習は週3回だけ。男女とも福岡県大学バレーボール連盟に所属しており、対抗試合もある。しかし、学外実習などでメンバーがそろわず、泣く泣く欠場することもあるらしい。

ともあれ、楽しく活動している彼らには、秋のそよかぜのようなさわやかさを感じた。

新コース制へリフレッシュ!!

来年度からカリキュラムを改正

家政科長

教授 西岡 弘晃

本学家政科では、発足時から、食物・被服・消費経済を三本柱としてきたが、平成二年度から、従来の食物・服飾コースを生活文化コースと改称して、「生活文化コース」と「消費経済コース」という新コース制へリフレッシュすることにした。

一般に、家政科という場合、調理や被服、あるいは家計簿や家族問題などの家庭内の日常問題を対象とするものと連想しがちである。本学でも、これらの科目を核として、理論と実技・実習を組み合わせて、ワープロ、情報処理、消費経済関係を取り込んで独自性を発揮し、これにゼミナールを必修として大学らしい教育成果をあげてきた。

近年、科学技術の進歩につれて、物質文明が高度に発達し、生活の多様化・個性化が急速に進んでいる。また一方では、国際化・情報化・長寿化の進行、余暇の増大、女性の社会進出など、家庭を取り巻く環境や社会構造の変化も著しい。かかる現状によりよく対応した教育体制を整えるべく、家政科全体のカリキュラムの見直しを行うことにした。現在、本学家政科は、ユニークな教育課程の下

に社会的評価は高く、入学志願者数は毎年最高記録を更新し、就職状況も極めて好調である。このような絶好調の時期こそ、将来のより一層の発展を展望して改革に取り組む最適な機会であると考えたのである。

改正の要旨は、第一に、現在の生活環境を正しく理解し、さらに将来に向けて文化的生活を獲得するために必要な知識、基礎的技術を修得させること。第二に、将来、生活様式や価値観が大きく変化しても、高度の科学的認識に基づいた行動と、人間的豊かさで柔軟に対応できる人材を養成すること。

これらは、一般教育と家政科共通科目の有機的な組み合わせのなかで対応している。第三に、情報化社会を見据えたこと。「情報」が物やエネルギーよりも有力な資源となつて、情報の生産と高度利用が重要になっていく社会の到来が予測されており、そこではコンピュータ・マインドと呼ばれる思考様式が必要になってくる。「生活情報論」の新設や情報処理関係科目の充実を図つた。第四に、「生活文化コース」を設けたこと。従来の食物・服飾を中心としたものから、技術革新によって国際化・

来年度家政学会を 本学で開催

日本家政学会の第四十二回全国大会が、平成二年五月二十六日と二十七日の二日間、本学を主会場として開催されることが決定した。同学会は、これまで関東、関西の大手私大を中心に開催されており、九州、山口地区では本学が初めての会場校となる。

学内にはすでに準備委員会が設置され、全学をあげた受け入れ体制が整えられつつある。

ちよつと インタビュー

武藤 弘子 さん

横顔

昭和六十二年三月に児童学科児童教育学専攻を卒業（福岡県立山門高校出身）難関中の難関で中央官庁の高級官僚コースである国家公務員一種（旧上級甲種）の今年度採用試験にみごと合格。

「国家公務員一種（教育）合格おめでとうございます」

受験の動機はたいしたことではないんです。小学校教員採用試験の模擬試験のつもりで受けました。福岡県の採用試験はかなり難しいので、これまでの勉強の成果を試してみようと受験したら思いがけず合格したのです。

「小学校教員採用試験も合格したそうですね」

今年が四回目のチャレンジでした。卒業後の三年間はアルバイト



や臨時教員をやっていましたので、合格してホッとしています。

国家公務員の方は法務省の保護監察官を希望していますが、四年間待ち望んでいた教員採用試験にやっとな合格したので教職に進もうと思っています。

「学生時代のことで思い出に残っていることは何ですか」

マンドリンクラブにいたんです

が、大変つらい練習だったんです。でも、最後まで続けてよかったと思います。それと教育実習です。自分自身に余裕が無かったのか、子供達がかわいいというより、教員という職業は意外に大へんな仕事だなあと感じました。

「受験勉強について後輩へのアドバイスがありますか」

案外、みんな気がつかないのではないかと思います。教員採用試験を受けようと思っている方は、国家公務員一種（教育）の採用試験を受けてみてはどうかと思

います。問題はかなり難しいのですが、専門試験、一般教養ともレベルは同じくらいです。特に二次試験で面接を経験しましたので、教員採用試験のときは、リラックスして面接の質問に答えることができました。

私の場合、国家公務員試験に挑戦して、自分の可能性が大きく広がったような気がします。

今年度科学研究費 補助金決まる

平成元年度文部省科学研究費補助金の交付が、六月二十日付で決定した。本学に関するものは次のとおり。

▽ライフステージに即した健康生活習慣の指導に関する研究
（代表者）松本 壽吉（健康学）

教授 樋口 公男
（栄養生理学）
助教授 城田 知子
（栄養指導）

教授 白木 静枝
（保健体育学）
助教授 田中 浩子
（保健体育学）

教授 富崎 望
（保育原理）
助教授 林 義樹
（教育原理）

教授 今村 英夫
（公衆衛生学）
教授 後藤 昌義
（病態栄養学）

教授 篠原 忍
（児童心理学）
助教授 安部 恒久
（臨床心理学）

▽チトクロームP-450 S C Cとその還元酵素系との反応メカニズムと結合部位の研究
講師 原 孝之（生化学）

学園回想 (3)

中村栄養短期大学の開学を祝って

学校法人中村学園理事長
中村 学 園 長

中村 久雄

前回は述べたように色々と苦労の末、中村栄養短期大学は昭和三十三年四月無事開学した。学校の中に、二年生は福岡高等栄養学校生、一年生は栄養短大生という移行期に伴う変則的な姿であった。

この栄養短大の開学に至るまでに一方ならぬ協力を仰いだ各界各層に対する謝意を表し、また、この短大の発足を社会一般に披露する趣旨でその年十一月一日開学式が執り行われた。この式典はどの私立学校でも行われる型通りのものであったが、これに引続き催されたイベントは当時としてはかなり大がかりのものであった。

十一月二十三日、二十四日両日にわたる「料理祭り」である。理事長、学長中村ハルが最も得意とされる分野で自ら計画をたてての陣頭指揮であった。この「料理祭り」は二部門から成っており、その（一）各種料理の作品展示会、その（二）食物バザーである。いずれも学校主催で本学の教職員は勿論、中村料理学院の先生方の応援参加も仰いだ。この二日間の「料理祭

り」には学外から約七千七百人を越す入場者があり、狭い中浜校舎は人波におしつぶされそうな盛況を呈した。

当時の記録からその主な内容を紹介しよう。

（一）各種料理の作品展示会

- 特殊病人食の各種
- パランスのとれた保健食の各種
- 粉食料理各種
- 鯨肉その他魚料理各種
- 大豆料理各種

昭和三十三年頃といえは鯨肉は値段も安くその普及奨励に力を入れていた時代である。今から考えると全く今昔の感にたえない。

（二）食物バザー

品種、売値は次のとおりになっている。

- おせんざい 三五円
- 又焼入り強化うどん 四五円
- フルーツ蜜豆 四五円
- 江戸式五目雑煮 六〇円
- 北京焼き餃子 六〇円
- 銘岡東煮（おんのこと） 七〇円
- 特製カレーライス 九〇円

○ ミックスサンド

イチと紅茶 一〇〇円

○ お好み焼 一〇〇円

○ その他果物・菓子

以上のうち果物、菓子以外の九品目はすべて学校で調理し販売したものである。一品目当たり二十人分とか三千人分という単位で九品目合計二万食は優に越える膨大な量である。学生の大部分はこのバザーに参加し調理作業や接客接待に当たった。姉妹校の中村料理学院の先生方や生徒有志の応援も得て、何とかこの大事業を切り抜けることができた。

このバザー売上高は約百二十万円、純利益五十三万六千円となっている。この利益金は開設当初の学校の設備充実に充てられた。このバザーではまた色々と工夫が凝らされていたようである。即ち、本学のバザーは他校で見られるようにただ単に客に食べ物を提供するだけではない。以上は栄養短大のバザーという以上は栄養知識の普及にも努めねばという



料理祭りのポスター

ことで、各品目ごとに熱量、蛋白質、脂肪、カルシウム、鉄、ビタミンA、ビタミンB₁・B₂、ナイアシン、ビタミンCの成分表、およびこの食べ物には栄養のバランス上この食べ物は栄養のバランス上

調理担当の先生方や学生がこの二日間不眠不休で頑張っていた光景、中村ハルが白い割烹着をつけ自ら焼つけをしていた姿を今でも想い出すことができる。

「鉄欠乏性貧血」の研究報告と参加学生へのお礼

栄養科学研究所

本学の大学・食物栄養学科、短大・食物栄養科の学生の一部に見られる貧血を、食事と運動で改善しようという研究を昭和六十三年十月から十二月まで行い、その成果を本年八月、韓国・ソウルで開催された国際栄養学会に発表しました。研究に進展で参加された五十四名のボランティアの学生の皆さんをはじめ、研究を理解し協力して頂いたその他多くの学生の皆さんやご父兄、ならびに教職員の皆さんが紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

最近、東京のある高等学校で起きた貧血に関する事件と関連して、本学でも同じ様なことが行われたかの様な誤解を招く記事が報道され、ご心配をおかけしました。正しい経緯をお伝えしておくことは研究当事者として重要であると考え、ご説明させて頂くことにしました。

栄養士は医師、看護婦等と共に保健・医療に関わる専門家であり、今後益々その活動が重要視されている職業です。本学ではそのような専門家を育成するために栄養・健康について常に新しい研究がなされ、その成果を活かした教

育が行われております。医学の研究と同様、栄養の分野の研究でも人体を対象とする実験は欠くことができません。栄養の分野においても人体を対象とする際は医学と同様、厳しい倫理性が要求されます。このことに特に留意し「人体を対象とする実験的研究に関する規定」が昭和六十二年六月に設けられ、本学の教員が人体を対象とする実験的研究を行う場合には、研究審査委員会（他大学医学部の倫理委員会に相当）で「研究の目的、方法、倫理性、危険性、被験者の合意や秘密保持、その他」について慎重に審査された上で、学長の許可のもとで実施することになっております。従って、今回の貧血の研究も、研究の必要性や人体への安全性はもとより学生の教育に役立つこと、研究計画・方法が十分に検討されていることなど、この委員会でも慎重に審議され、製薬会社の協力のもとに始められました。

鉄欠乏性貧血症の多発は世界的な現象で特に若い女性に多く、日本では約四〇％が鉄欠乏の状態にあり、臨床・栄養の最も大きな課題の一つとされ憂慮されています。本学

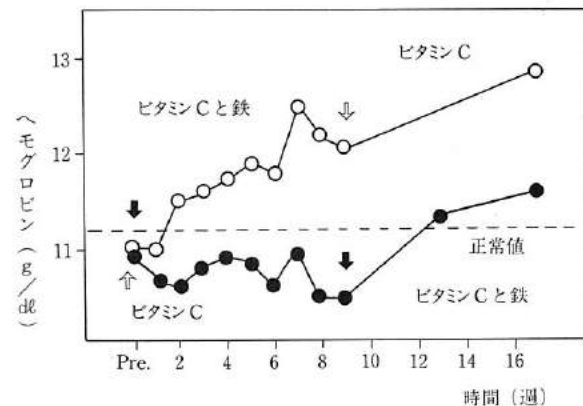
では食事からの鉄の摂取の実態調査や、適度な有酸素運動による体力向上効果について数年来、研究が行われております。鉄飲料を食事の補助として用いる学生の貧血の改善に取り組みに際し、以下のことを確かめました。（一）クエン酸鉄アンモニウム（FeA）は安全な食品添加物で既に使用が許可されている（二）FeAの吸収性は非常によい（三）ビタミンCは鉄の吸収を促進させる（四）大塚製薬では2カ月以上の人体実験から安全で副作用などのないことを確かめている。

食物栄養学科・科の学生の鉄欠乏性貧血症は五・二％でした。これは日本人の同世代女性平均値一・九％よりは低い率で、さすがに栄養士を目指して勉強している学生であると思われました。しかし、潜在的な鉄欠乏者は学生の二七％にも達し、将来栄養指導をしなければならぬ者としてこれだけでよいのかと憂慮されました。研究に参加し貧血の改善の過程を通じ勉強してもらいたく呼びかけましたところ、鉄摂取の悪い九十八名の該当者の内、五十四名がボランティアとして同意をしてくれ改善研究が

始められました。結果の一部ですが皆さんが貧血の指標として最も馴染みのあるヘモグロビン値の改善結果を図に示しておきます。ビタミンC（鉄の吸収をよくするもの）だけをとりつたグループ（●）は最初は改善されていみませんが、矢印の所で、鉄とビタミンCをとると改善され、最終的には参加した方全員がよくなりました。一旦、改善されるとヘモグロビンは食事のみでも正常状態を維持することができると、またビタミンCのみでは治らないことなどが分かりました。一方、運動は適度であれば貧血の人の体力向上に大変有効なことが明かにされました。なお正常者でも本学科・科の学生の一日の鉄摂取量は平均七mgであり厚生省の定めた十二mgより大変低く、これはソウルの学会でも問題にされました。

貧血の方は今までよりさらに多い鉄分の摂取に心がけ栄養、食事の大切さを知って下さい。研究に参加された方は今回学んだ経験を今後の社会生活に役立てていかれることを願っております。中村学園大学では（理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじた教育と研究に努める）の精神で教職員ともに努力しております。学生の皆さんは栄養に関して将来、先生と共に研究する機会がある時は自分の勉強の一つとして、また研究の成果が広く社会に役立つものであることを誇りとして、進んで研究に参加協力して下さいことを心よりお願い致します。

共同研究者
谷口巴子
今村 英夫
城田 知子



平成元年度就職戦線 専門職はこれからが本番

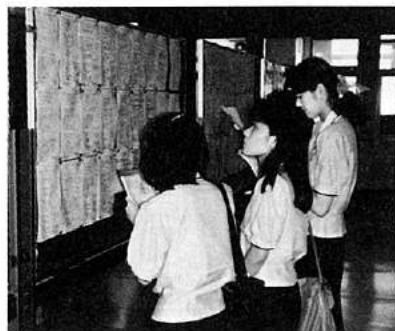
来春卒業予定の学生の就職活動は、特に一般企業の事務系職種について昨年度よりも早い動きが見られた。学生達にとって、八月はまさに「暑い夏」となったようである。十月一日からは各企業の採用内定開始。学生からも順次内定の報告が届いている。現在の就職状況と今後の見通し、まだ決まっていないう学生に対するアドバイスが学生課にまとめてもらった。

一般事務関係

好景気を反映して各企業の採用意欲は強く活発であった。特に金融関係では短大からの推薦枠も大幅に拡大している。四年制大学生もよく健闘し、西日本銀行や日本航空といった激戦の人気企業にも内定している。早い時期から先輩訪問や企業訪問をして積極的に動いた学生は、好結果につながった。求人へのピークは一段落したが、今後も製造業・流通業・サービス業を中心に出てくるものと思われる。未決定者は、窓口である学生課から情報を得るとともに、アドバイスを求め、自ら積極的な姿勢で取り組んでもらいたい。

栄養士関係

栄養士の求人は欠員補充の場合が多く、例年十一月頃から増えてくる。就職シーズンはこれからと



求人票掲示板前で

いったところ。現在は一般企業の求人が多く内定者も出ていますが、慌てないこと。実習先とのつながりや、履歴書を預けて依頼している所との連携を密にして、忍耐強く就職活動していくことが肝要である。

幼稚園・保育園関係

栄養士と同じく欠員補充が中心で、求人はこれから本格化する。しかし、一般企業の動きに対応して早目にいい人材を確保しておくことが重要。中には八月末に合同幼稚園説明会を開催した園もあるなど、新しい動きも見られる。この職種は実習の評価が就職に結びつくことが多く、園の行事を手伝いに行くなど積極的な働きかけがポイントとなる。また地区によっては登録試験が行なわれるところもあるので注意が必要。

私の就職活動

大きな挑戦
短大家政科2年
中村由美子

「この会社で落ちたらどうなるのだろう。もっと確率の高い所を受けるべきだろうか」就職先の選択は私にとって大問題でした。不安は多かったのですが、自分がどこまでやれるのか挑戦したかった。結局、第一希望の日本興業銀行を受験する事に決めました。

がんばれ後輩

私のやりがい
済生会福岡総合病院
栄養士
熊本チエ子

配膳一時間前、さあ、これからラストスパート、戦場のような慌ただしさが増してきます。毎日、食事を上げるまでが時間との闘いです。皆、真剣です。だから時には大声が飛びこることもあります。これが私の職場なのです。現代は飽食の時代で、人々の舌は肥えています。病院での食事も、「食事療法」という言葉に隠れていたのでは、通用するはずがありません。そこで私たち、他にはない

挑戦するからにはそれなりの覚悟が必要です。面接の本をかたっぱしから読み、友人や父と面接の練習をしたりしました。これらの事が面接試験の時、これだけやっただから、という自信につながり、落ち着いて面接試験に臨む事が出来たと思います。

試験全体の出来はあまり満足出来るものではなかった。ダメだったかな、という感じでしたが、自分でよく考えて決めた事で、それから、違う会社を受けていけば……等という後悔は全くありませんでした。ですから合格の知らせ

当病院の持ち味を出そう」と、色々努力しています。例えば行事食というものがありません。お正月には「おせち料理」――肴の盛り合わせと博多雑煮、それには折り鶴を飾ってささやかなお祝いの気持ちとしました。その他、ひな祭り、子供の日、七夕、敬老の日、クリスマス等には手作りのカードを添え、その日にちなんだ料理を作って、患者さんに少しでも季節感を味わってもらいます。また、適温での料理を心掛け、食器を保温庫で温めたり、冷凍庫で冷やしたりします。盛り付けも配膳間近に一斉に取りかかるようにしています。この頑張りも、「美味しい」という患者さんの言葉が大きな救いとなります。調理業務以外には栄養指導とい

せを聞いた時のうれしさは、まさに言葉ではいい表わせないものでした。

今考えるとこの中村学園で私なりに、勉強にスポーツに頑張ってきた事は、ある意味ではそれも一つの就職活動につながっていたように思います。最後に、私がこれまでこれたのも先生方や、先輩方のおかげと心から感謝致しております。ありがとうございます。この就職でお世話になった方々の期待に応えるよう、来年の四月からは「興銀レディー」として元気一杯働きたいと思っております。

う仕事がありますが、個人、集団指導と、それぞれ患者さんの反応をみて話していくのは、本当に難しいものです。こちらの一方的な説明だけにならないよう心掛け、なるべく患者さんの方から話してもらいように気をつけています。栄養士を目指している皆さん。給食事業は年々厳しくなっていると思います。その中で働く栄養士も、また大変になってくるでしょう。しかし、働き始めると、厳しい中にも「楽しさ」がきつと見つかると思います。それを見つけたために頑張ってください。たぶんそれが「やりがい」につながると思います。（昭和五十九年度 短大食物栄養科卒業）

ESSAY ブータンの 春の息吹

食物栄養学科・食物栄養科
教授 波平 元辰

木々をかすめるように、飛行機は谷間の小さな滑走路にすべり降りた。ここはブータン王国、標高二三〇〇メートルのパロ空港。空気がさわやかで、日の光がまぶしい。「アーヤとたどり着いた」というのが私の実感であった。二十五年前、インドの北部に位置するこの知られざる国の存在を知って以来、私にとってブータンは憧れの国、遙かなる国であった。このたび、福岡市で開かれたアジア太平洋博覧会のアジア各国との交流の一環として、五月ブータンを訪れることができた。

最近、ブータンが日本文化のルーツではないかということで注目されるようになってきた。それはブータン、中国の雲南、日本にはカシヤクス、ツバキなどの照葉樹林が分布しており、栽培植物にも共通性が見られる。したがって、そこに住む民族の生活文化には多くの共通の文化要素が存在するというもので、食生活の他、漆、竹細工、織物などがあげられている。

ブータンはインド側の亜熱帯からヒマラヤ山麓の亜寒帯まで変化に富んだ気候帯、地形を有している。

るので一概には言えないが、たしかに私の見た高地の風景は、日本にそっくりであった。

しかし私の関心はむしろ食生活をはじめ、現在の両国の文化の違いにあった。ひょっとしたら、かつて共通にあったもので、現在の日本では失われてしまっている大切な何かがあるかもしれない。期待ではなかった。首都ティンブプー。ヒマラヤの白い峰々を背景に緑の谷間に広がる桃源郷。独特の建物は統一がとれ、自然とよく調和して美しい。その中で、ひとときわがやとそびえ立つ建物はタシチョ・ゾン。昔の城砦で、現在、政庁と僧院が同一構内にあり、昼過ぎまでが政治、夕方以降が宗教の世界になるという。政治と宗教のふたつの融和。

宗教は仏教系のラマ教で、その派手さには一瞬とまどいを感じるが、その心はブータンの人々の生活の隅々まで生かされている感じがした。顔は皆穏やかで、犯罪はほとんどないという。

朝市の賑わいは日本と同じ。驚くほど食品の種類が多い。赤米やヤクノ肉、熱帯の果物など珍しい食品も多く見られた。店に並んでいる商品はインド産のものも多く、インドの各分野での影響を垣間見る思いがした。

ブータンは長い間鎖国状態にあり、国連加盟が一九七一年、わが

国との国交樹立が一九八六年。外交は始まったばかりで、押し寄せの近代化の波を必死でくいとめている感がある。今後の課題も多いと聞く。

今回の旅で特に印象に残ったのは、若い人達の誇り高さ、礼儀正しさであった。それは若くて聡明な国王を中心に進められている伝統を生かしながらの国造りに、大きな力となるものであろう。

子供達のあどけない顔、ヒマラヤの峰々の一大スベクタリシヨ……私にとってこの三日間は、タイムスリップの旅であり、二十五年間の空白の思いに彩りをそえるものであった。

ESSAY 小さな シンデレラ

図書課長補佐
原 博 幸

わが家へ小さなシンデレラがやってきたのは、夏の盛りだ。七月二十八日から、八月三日にかけてのことであった。身体は細く、肌は浅黒い。赤い縁のメガネをかけていて、笑うと白い歯が光っていた。

名前は、鄭珮詩（チェン・ペー・シ）、台湾・台北市に住む小学五年生の女の子である。ホームステイの経験がないわが家のメンバーと言え、この期間、学内の研修会と重なり、最も役に立たなかつた。

った私のほか、家内・小二の長女（菜月）・幼稚園児の二女（七実）の四人である。

チェンが来るのが決まった当初は、生活習慣・食事・言葉等に不安があったが、同じアジアの国であり、また生活・文化水準も日本とあまり変わらないという情報を得てからは、特別に構えず、普段のわが家で迎えることにした。

むしろ、私の一番の不安は、チェンとわが家の娘たちとの年齢差であった。しかし長女の夏休みの作文を読んでもみると、それほど心配も無用だったようだ。

チェンと、わたしは、ことが通じないけど、みづり手ぶりでわかりました。チェンは、アジアたいへいよう子どもかいぎインふくおかに出るために、日本にやってきましたのです。夕ごはんのとき、チェンはあまりたべなかつた。はじめてきたうちだったからかなあと思ひました。チェンがいちばんたのしうにしていたのは、水まきです。わたしとチェンでおにわにホースで水をまきました。チェンは、となりのわにわにもかけたりしました。うちのあまどやまどガラスにもかけたりして、とてもたのしうでした。

台湾の小学校では、北京語を習い、家では、台湾語を話しているそうだが、チェンは、英語の素養があった。それで、彼女と私達

は、カタコト英語ではほとんど理解し合えた。時には、漢字や、絵を描いてみたりすることもあった。一度だけ、彼女の欲しいおみやげについて、よくわからないところがあり、また食事をあまり食べないことも等々気になっていた。で、食物栄養学科の学生・鄭昕薇君に電話で尋ねてもらった。鄭君には、ほんとうにお世話になった。

二日、三日と経つうちには、最初はこわごとと接していた娘達もチェンの後について走りまわるようになっていった。チェンが花火を振りまわしてはしゃいでいる様子を見ると、今の日本の子供に段々見られなくなつた意志の強さ・協調性がうかがえて驚くこともあった。

また彼女は、どこへつれて行っても、色んなメカに強い興味を示した。今度、日本に来るときには、科学者がエンジニアになっていくかも知れない。帰国の日、飛行場で、現代っ子らしく涙一つ見せないチェンを見ると、そんな想像が楽しかった。再見（ツァイ・ツェン）チェン・ペーシ！——さよなら小さなシンデレラ！

寮へ行ってしまった日

夜が更けて、春の風が屋根をかすかに鳴らして渡ってゆきます。ゆうべは ゆっくり眠れましたか？

ミオ。今夜も静かな夜です。こんな静かな夜があったのかと思うほど静かな夜です。お腹はすいてないか？ ゆっくり 眠れそうか？

ミオ。 (89・4・3 夜)

手紙

あなたが好きだといって植えたライラックの芽が、もう十五センチも伸びてしなやかな ハート型の葉っぱをつけて

家からの手紙を二、三行読んで急いで部屋のそとに出てこぼれそうになる涙をなだめ ずかして

「風呂」のうたには 弱いから

あんなのやめてと

照れくさそうに

にが笑います

お前の顔が

ふと 中学生の頃の顔に戻る。

いかにも さばさばして

ドライな娘に育ってしまったなと。思っていた お前がやはり ふつうの女の子のようで面白い。今からもあんな手紙を書き送って お前さんを 思いっきりいじめてやろうかと。にやり……。しかし、寂しい お父さん。 (89・5・2 夜)

「原稿が不足した際の『埋め草』にお使いいただければ」と、Kさんのお父さんから、この詩をいただく。娘をはじめて手元から離れた。男親の感情を書いたものです。ほかの親ごさんも、特に男親は、こんな気持ちで家を出されたと思います——子供の成長が楽しみで、それでいてどこか寂しそうな……そんな父親の気持ちが伝わってくるようです。電話ばかりで用件を済ますことが多いが、たまには手紙のやりとりもいかがでしょうか。

一冊の本 「スーパー書斎の仕事術」

山根 一真 著 (文藝春秋社刊)

児童学科・幼児教育科
講師 田中 孝志

著者は、個人ができる仕事の手法とは時間がかからず、コストが安く、それでなお目標が達成できるものでなければならぬという立場をとっている。うまい話である。普通、うまい話は気をつけるべきものであるが、本書で示されている方法は、工夫すればありふれた素材でここまでできるのかという示唆を与えてくれるもので一読の価値はある。

一例として、資料整備の方法をあげよう。著者は、拡大・縮小コピーによる資料の規格統一、五十音配列による分類、市販の角二号封筒を併用した「山根式袋ファイル」法を提唱しているが、この方法を用いれば、十五秒以内の資料検索が可能で、費用も五百項目あたり一万円ですむという。

本書は、自分の仕事のやり方を改善したいと願っている人達にお薦めしたい一冊である。

シリーズ 子どもの心 (3)

非常勤講師・元竜崎幼稚園長
高良 竹 美



私は大学で、言語と保育経営論を担当しています。テキストを使用しないで、経験談を具体的に例示して、教育の本質に迫っている(ツモリ)ですが、学生の目が輝くのは、やはり幼児達のナマナマしい言動を取りあげた時です。

子どもから目が離れた時、教育は光を失います。子どもこそ、教育の鏡です。

私は、講義のまとめとして、次の三つを示しています。

1. 子どもを知る
1. 子どもと遊ぶ
1. 子どもに学ぶ

教育効果の評価は、子どもたちが教えてくれます。子どもから教えられることが多いのです。こんなこともありました。子どもに、「草取りをしよう」と呼びかけたら、「草おしりでしょう？」と叫びました。ボールの下がっている鯉を指して「魚がほしてある！」と叫んだのは3歳の幼児でした。堀にとまっているカタツムリを、雨ごしにみつめて「カタツムリが雨を上っている！」と注進に来た子もいます。二本の竹の棒を叩きながら「この竹、悲しい音がするでしょう？」と届けました子……こんなすばらしい感覚、創造的な発言を、月並な判断でしばってしまうことはないでしょう。

その為には、たえず、子どもと遊ぶことが大切です。西島伊三雄画伯が「柳川の川下りて、景色の一番美しいのは、舟に尻もちをついて見た時ですパイ」と言われました。流石に芸術家の目です。

子どもの心を掴もうと思えば、視点を子どもと同じ高さにおくべきです。きれいで、本の頁をめくり、机に固定されて、幼年教育はなりたちません。理屈で育児は出来ません。子どもと同道、同行出来ない人は、保育者には不適です。学園祖ハル先生の子どもの好きは有名です。久雄理事長も、幼稚園児の前では好々爺になられます。これが、子どもの心を掴む原点です。

併設校の話題

志岐幼稚園

◇「ボク達の部屋が出来たよ」とお兄ちゃん、お姉ちゃん達に自慢するひよ子組(三歳児)の十三名。新しい園舎が完成して、仮住まいの遊戯室から引っ越した。

自然光がいっぱいの部屋。緑の人口芝を敷きつめた廊下。明るさも、色あいの子供達のお気に入り。

◇「よかトピア」で、香港の人気映画俳優ジャッキー・チェンさんと遊んだ年長組。やがて成長し幼稚園を思い出すとき、数々の思い出の中でも宝物のひとつになるのではなからうか。

あさひ幼稚園

◇二学期の始業式。三好園長が静かに話した。じっと聞き入る子供達。アジア太平洋博覧会のことを語ろうと園長が、「よかトピア」と口にした途端、「よかトピア」、「よかトピア」と子供達

が歓声をあげた。

アジアの多くの国々が参加して開かれた博覧会。園児達も、もちろん見学した。久しぶりに会った友達に、その思い出を話したくてたまらなかつたのでしようね」と園長は目を細めて微笑んだ。

◇運動場や赤土山に伸びた夏草。園児の背より伸びたものもある。夏の間、子供達が虫採りをできるようにと、そのままにしておいたもの。飛びはねるバタやコオロギをつかまえては喜ぶ姿をみて、先生たちも「大成功」と喜んだ。

三陽中学校

◇夏休みも終わりに近づいた八月二十一日から二十六日までの一週間。二年生百四十三名と森校長ほか十名の教師が佐賀県川上峡温泉で勉強合宿に入った。生徒はすでに志望大学を心に期している。やる気は満々。一日九時間の勉強は個人指導が中心で一人一人の實力にあわせて行った。「あの子はできないからとボヤくな。できるように方法を考えるのが教師だ」

「中・高一貫で六年間もかけるのだ。浪人させてはいけない。それだけの指導を徹底して行おうのだ。」熱意と熱意がぶつかった一週間、火照った頭と身体には冷たいプールが心地よかった。

三陽高校

◇九月は雨がよく降った。練習不

足が心配された運動会だったが、当日は快晴の天気に恵まれた。

三陽名物は何といってもタンブラーリング(組体操)。一年生から三年生まで八百十名の生徒が、グラウンドいっぴいに整然と展開する演技は圧巻だ。五段やぐらが完成した時には約千名の観衆から大きなどよめきが湧きあがった。また、三年生の騎馬戦や二年生の棒倒し競技。ぶつかりあい、傷つくことを恐れない三陽健児の逞しさがいかんなく発揮された。素晴らしい一日だった。

女子高校

◇スポーツの秋。昨日までの雨もあがり、九月十三日は絶好の運動会日和。グラウンドには赤・青・黄・白・緑にわかれた生徒の明るい歓声が響く。ブロック対抗のリレー。先生と一緒のダンスやリレー。ここには普段教室では見れないエネルギーの躍動があった。先輩も後輩も、生徒も先生も一緒に声援を送る一体感があつた。青春の一ページを飾るのにやはりスポーツは欠かせない。

◇夏のインターハイで日本一になった軟式庭球部。強くなればなるほどその後が大切と、毎日厳しい練習が続く。運動会とは違い、練習にはピンと張りつめた緊張感がある。一打一打に込めた緊張感が今度の栄冠につながった。やればできる。彼女達をみて、そう思った仲間はずっと多いはずだ。

健康づくりの指導者目指して

キャンパスに年輩の方々が集まり、歩いている姿が時々見られる。「ニコニコ・ヘルシー・スクール」で健康づくりの指導をうけている皆さんだ。同スクールは、今村英夫教授(公衆衛生学)のもとで卒論研究を行っている食物栄養学専攻の四人が取り組んでいる。受講者は、保健所や市の広報紙などで募集した。

スクールのメニューは、週一回ないし二回のウォーキングと一回三十分程度のエルゴメーター(コンピュータをそなえた心肺機能を測る機械)による運動、および食事チェックだ。受講者の中には途中で投げ出す人もいたが、二年間継続している人もおり、現在約三十名が受講している。体重が減り足腰も丈夫になってきたと効果が表われ、スクールの人気は上々。中には食品成分表を買って家で食事内容にも気をつける人がでてきたという。

また今村教授のもとでは、管理栄養士専攻の卒論生四名が、健康づくりは年を取ってからだけの問題ではないと妊婦の運動処方研究に取り組んでいる。生まれてくる赤ちゃんのために、いかに母親としての健康づくりが大切かと、近所の産婦人科医院とタイアップ

して、妊婦の栄養と運動の関連性を調べている。健康づくりについてのアンケートを行い、これに基づいて生活面での指導を行うものだが、心理面での指導が大きな比重を占めるという。

この二つの研究に取り組んでいる学生が、口をそろえていうのは「栄養と運動と休養」この三つをバランスよくとることが健康づくりに必要ということ。そして、そのための良きアドバイザーとなるのが栄養士であり、そのためには心理学の勉強の必要性も強く感じているそうだ。

将来は栄養士になりたいという卒論生。健康づくりについて豊富な知識をもって、もっと一般の人に栄養士の仕事を知ってもらいたいと願っている。最近では行政機関でも、健康に対する認識が深まってきた。彼女らの希望がかなえられることを期待したい。



志岐幼稚園

元気に満十歳

昭和五十四年四月に開園した志岐幼稚園が、今年で創立十周年を迎えた。開園当時は園児数わずか五十一名。二クラス編成の少規模な園であったが、この十年間に規模は拡大し、現在は五クラス、園児数百四十一名になった。また卒園児の総数は五百三十六名になっている。



今年三歳児クラスの新設、新園舎の落成、園地の拡張といった、志岐幼稚園にとっては大きな事業が相次いで行われ、創立十周年に花をそえた。

そのしめくくりとなる記念式典と祝賀会は、来たる十一月十八日午前十時三十分から同幼稚園で開催される。

平成元年度

中村ハル

育英奨学生決定

平成元年度の中村ハル育英奨学生が決定し、九月二十六日、本学会議室にて関係者臨席のもと、理事長から表彰状と奨学金が奨学生に手渡された。

奨学生は次のとおり。

〔大学〕

食物栄養学専攻 四年 渡辺 美紀

管理栄養士専攻 四年 川崎 基子

児童学専攻 四年 平石 知子

児童教育学専攻 四年 堀内恵美子

〔短期大学〕

食物栄養科 二年 木下綾子・石原聡美

家政科 二年 平野めぐみ・梶原千佳

幼児教育科 二年 河野志保・松本美紀

短大同窓会

長崎支部結成

五月二十八日に開催された短大同窓会総会において、同会の長崎県支部の結成が承認された。これで支部は関東・関西・熊本・大分・宮崎に加え六つになった。

長崎県からは毎年三十名以上の学生が入学している。同県在住の同窓生も五百四十三名(平成元年五月現在)となっており、支部結成を喜ぶ人も多い。

支部の運営は、食物栄養科四回生(昭和三十七年度卒業)の宮田ユミ子さんが中心になって行われるが、当分は会員名簿の作成や役員選出などの準備から始まるとのことである。

同窓会は会員の連絡の拠点として、また、大学と卒業生を結ぶパイプとして大きな役割を果たすことから、一日も早く運営が軌道に乗ることが望まれている。

教職員の動き

▽新任

(平成元年八月一日付)

教 授

坂本喜久雄

▽退職

(平成元年七月三十一日付)

図 書 課

井上 里美

(平成元年八月三十一日付)

経理課員 野下由加里

なぎなた部 太田さん

国体でV

九月十七日から二十二日まで、北海道で行われた秋季国体に、本学からは太田知美さん(大学管理栄養士専攻三年生)なぎなた部)が、なぎなた競技成年一部の選手として出場。

試合は、各県三名ずつの団体戦で行われ、福岡県勢は順調に勝ち進み、二十日に行われた決勝戦では熊本県を三〇で破り、みごと初優勝をとげた。

計 報

村田 駿一郎

(むらた・きいちろう)



一般教養 科教授(英語)が、八月十一日午後

後一時半、胆のうがんなどのため宗像市東郷の医師会病院で死去、六十六歳。葬儀は十三日自宅でしめやかに執り行なわれた。

同氏は広島文理科大学卒業後、英語教師となり、福岡県立築上中部高、八幡高、福岡高校の各校長を歴任。昭和五十七年四月本学助教に就任、六十二年四月から教授の職にあった。

テレホンカードが

できました

本誌も創刊以来、徐々にご寄稿下さる方が増えてきました。そこで、広報誌委員会では、二種類のテレホンカードをつくり、原稿を採用させていただいた方へ差し上げることにいたしました。

一枚はシルバーマタリックの地に現在建築中の新西一号館をデザイン。もう一枚は白地に本館周辺を水彩で描いたものです。



おしゃれだなかなか好評です。ご希望の方は本誌への投稿をお願いします。

編集後記

◇女子学生の衣替え、学園祭パザールのチケット販売、三谷農園に実ったナスやヒョウタン。それに卒論研究で遅くまで灯る研究室の明り。キャンパスの秋も深まった。

◇本誌が創刊されて、やがて一年になる。創刊にあたって編集をまかされた我々の心配は、果たして年三回か四回発行するだけの話題があるだろうか、ということだった。しかし、探せばあるものだ。小さな情報を耳にして取材してみると、生き生きとした学園生活が浮かびあがってくる。